

会議結果報告書

令和3年10月15日

会議の名称	令和3年度第1回志木市立図書館協議会
開催日時	令和3年10月15日（金）15時30分～16時43分
開催場所	柳瀬川図書館 2階 視聴覚室
出席委員	阿部 剛委員、亀井沢真喜子委員、内田征男委員、 小林美里委員、宮下 博委員、原藤 光委員（会長）、 矢部英子委員、石川敬史委員 (計 8人)
欠席委員	竹前榮二委員（職務代理）、北嶋杏奈委員 (計 2人)
説明員職氏名	(柳瀬川図書館) 桜谷館長 (いろは遊学図書館) 樺嶋館長 (宗岡公民館) 谷岡館長 (宗岡第二公民館) 安川主事 (計 4人)
議 題	(1) 市内図書館図書室の概要について (2) その他
結 果	会長に原藤 光委員が選出される。 会長職務代理に竹前榮二委員が指名される。 (傍聴者 0人)
事務局職員	早川主査

審議内容の記録（審議経過、結論等）

1 開 会

2 任命書交付（柚木教育長より交付）

3 あいさつ 柚木教育長

4 委員の自己紹介及び職員紹介

5 会長の選出及び会長職務代理の指名

（仮議長に桜谷柳瀬川図書館長が就く）

- ・ 宮下委員から 会長に 原藤さんを推薦する意見が出る。
- ・ 仮議長 の問いかけに、複数の委員から「同異議なし」の声が上がる。

会長に原藤 光委員が選出される。

また、原藤 会長より 竹前榮二委員が 会長職務代理に 指名される。

6 議事

（1）市内図書館図書室の概要について

※配布資料をもとに各館室より説明

会長）市内図書館図書室の概要について、何か意見はあるか。

委員）いろは遊学図書館の概要説明で、ビブリオバトルが今年度事業とあるが、応募状況は、どのような具合か。市内の人の応募はあるのか。近隣大学との連携なども考えてみては、いかがか。

説明員）3つの部に分けて、実施を計画していた。小学生の部は子ども司書講座の卒業イベントとして実施予定である。中学生の部は、各学校の図書委員に参加してもらうことを考えていたが、コロナ禍の影響で中止となった。一般の部は、現在のところ、まだ応募が無い。

委員）コンビニエンスストア図書館資料返却等取次サービスについて、現在1店舗のみで実施とのことだが、今後広げていく予定はあるのか。

説明員）4月から開始したサービスだが、利用状況が伸びている。来年度以降、拡充の方向で検討を進めている。

委員）以前、ICタグの導入について計画しているとのことだったが、その後の進捗状況について伺いたい。

説明員）様々な観点から、ICタグの導入について計画を行っていた。導入費用が高額であることから、費用対効果などを再検証し、現在は、具体的な検討を行っていない。

委員）電子書籍の導入について、5年間を計画期間とする第三次志木市子ども読書活動推進計画の中で触れていたと思うが、現在、どの位置にあるかを知りたい。

説明員) 電子書籍は図書館に来館できない方が利用できる等のメリットがある一方で、新刊図書がすぐに電子書籍にはならないことや貸出回数の制限があること、図書館資料としての蔵書にならないこと等の課題もあるため、まずは、電子書籍の活用の市民ニーズの把握に努めていきたいと考えている。

説明員) 電子書籍については、非接触で資料を利用できるというコロナ禍でのメリットから、国の臨時交付金を活用して導入した自治体も多いと聞いている。しかしながら、コンテンツに分野の偏りなどがあるなどの課題もあると認識している。導入については、慎重に検討する必要があると考えている。

委員) 小・中学生にタブレットが1人1台配布されていると聞いたが、そのタブレットを活用し学校と図書館が連携して調べ学習を行うなど、双方にとって有効な活用ができるのではないかな。

説明員) 学校での学習のために、タブレットが1人1台配布されていると聞いている。

委員) 学校では、1人1台配布されたが、学校の授業を中心に使用している。タブレットを活用した学校と図書館との連携については、志木小学校といろは遊学図書館で複合施設の利点を生かし、利用方法について検討してみても良いのかもしれない。

委員) 現在“調べる学習”が話題になっており、学校資料のみで不足する場合、図書館資料も活用できると子どもたちにとって有効ではないか、と考えた。一方、タブレットを図書館で利用するとなると環境が整っている必要があるが、柳瀬川図書館地下1階児童書コーナーはWi-Fiがつながりづらく感じている。Wi-Fi環境を整えてほしい。

会長) 各館のWi-Fi環境の整備の状況は、いかがかな。

説明員) 柳瀬川図書館は、市の一部の公共施設で公衆無線LAN「フリースポット」が利用できることになっており、柳瀬川図書館も利用できる施設の一つである。ただ、アンテナが1階にあるため、地下1階においてはつながりにくい。ただし、現在閉鎖中のパソコン室ではWi-Fi環境を整えてある状態だ。

説明員) いろは遊学図書館にも、「フリースポット」が設置されているが、一度に多くの人アクセスするには十分ではない。このため図書館だけでなく、いろは遊学館を含め複合施設生涯学習棟のWi-Fi環境を整えていければよい、と考えている。

説明員) 宗岡公民館は、図書室にはWi-Fi環境を整えていない。ロビーなどでは利用できる。館内にパソコン室があるが、現在のところ十分なアクセス環境とはいえない状況である。

説明員) 宗岡第二公民館は、図書室はWi-Fi環境があり、会議室などでは有線LANの環境がある。

委員) コロナ禍で、生まれた赤ちゃんを持つ家庭では、外に出る機会がなく孤独になりがちだと感じている。図書館の事業も予約制であったり気軽に参加することが難しい。

感染症対策を講じながらも参加しやすい環境づくりを整えていただければ、図書館に足を運ぶ機会や親子で本に触れあう機会が増えると思う。

説明員) 通常であれば、9ヶ月児健診の際にブックスタートで絵本を配布し、読み聞かせを行い、フォローアップ事業として図書館での赤ちゃん向けの読み聞かせを実施しているが、コロナ禍のため、現在中止している。

読み聞かせは参加人数制限を行い、実施している状況である。また、赤ちゃんはマスクができないため、制限を解除していくのが難しい。感染状況にもよるが、令和4年度からは、9ヶ月児健診での読み聞かせを実施できるよう、健診担当課に働きかけていく。

説明員) 公民館では、ブックスタートフォローアップ事業や読み聞かせについて、参加人数を制限して実施している状況だ。感染状況を見ながら、取り組んでいきたい。

委員) 読書通帳は、小・中学生に配布したとのことだが、今後どのように活用していくのか。

説明員) 読書通帳は、読書記録を20冊記入した人に、カパルシールを貼ることにしている。一般向けには、図書館・図書室の窓口で配布する他、様式は、図書館のHPでもダウンロードできるようにした。大人の方も活用していただける。読書通帳は、すでに近隣自治体で取り組み済みだが、親しみあるカパルのキャラクターをデザインしたので、これを契機に子どもたちに本を喜んで読んでほしい。

委員) 電子書籍導入についてメリット・デメリットがあると思うが、電子書籍のメリットの部分で考えると、同じ本を同時に読み、感想を友達同士で話しあったりすることで、本に親しみやすくなる要因となるか、と感じた。また、調べ学習にしても、図書館の本を学校に持って来ることは難しいが、タブレットや電子書籍を活用することで、図書館の本を活用しやすくなる、という利点がある、と感じた。学校と図書館がそれぞれの持つ良い点を出し合い連携することで、子ども達が本に親しむ機会が広がる、と感じた。

委員) コンビニエンスストア図書館資料返却等取次サービスについて、返却方法を詳しく教えてほしい。

説明員) このサービスは、4月から開始した。当初は、コンビニエンスストアにブックポストを設置することを計画していたが、スペースの関係でブックポストの設置は難しいが、カウンターでの受け取りという方法であれば実施できる、ということになった。

委員) 図書館からセブンイレブン側への業務委託料のようなものは発生しているのか。また資料は、そのまま返却しているのか。そのままだとすると、利用者の秘密を守るという観点から店側へも何らかの研修が必要ではないか。

説明員) 謝礼程度ではあるが、取次委託料をお支払いしている。また資料は、そのまま返

却しており、利用者の秘密保持について、契約では明記し担保している。
会長) 利用者の秘密保持の観点からは、どのような手法が有効と考えるか。
委員) 返却専用の袋に入れて返却するという方法があると考えます。
会長) 図書館側でも検討の余地がある、という認識で臨んでいただくことが必要かと。
説明員) わかりました。

(2)その他

特に無し

7 閉会